

厚生環境委員会・県外視察報告

1 調査日

令和7年7月28日（月）～令和7年7月30日（水）

2 出席委員等

藤井 大輔委員長、横田 誠二副委員長、針山 健史委員、亀山 彰委員、川島 国委員、
瘧師富士夫委員、五十嵐 務委員、菅沢 裕明委員
(その他、執行部が参加)

3 調査の概要

○令和7年7月28日（月）

（1）株式会社善光総合研究所、社会福祉法人善光会

調査項目：医療介護福祉分野に係るDXの推進について

応対者：介護ビジネスサポート部、介護DX部 ご担当者様

内容： 株式会社善光総合研究所は、介護事業者のDX化に資する介護ソフトの開発・販売やコンサルティングを手がけるとともに、厚生労働省のデジタル中核人材養成研修の立案・運営を担うなど、介護分野におけるデジタル中核人材の育成に注力している。

社会福祉法人善光会は、介護テクノロジー機器の導入と業務改善により、記録・管理、見守り等の利用者から離れた状態で行う間接介助業務の効率化を進めている。これにより創出された時間を、食事や排せつなど利用者の身体に直接触れて行う直接介助業務へ重点配分している。こうした取り組みの成果として、介護・看護職員1人当たりの担当利用者数は2.82人に達し、全国平均の約1.4倍となっている。

当日は、株式会社善光総合研究所および社会福祉法人善光会から事業概要の説明を受けた後、両者の取り組みが実装されているサンタフェガーデンヒルズを現地視察し、DX化と介護テクノロジー導入の具体的効果を確認した。



集合写真



館内案内の様子

(2) 一般財団法人 GovTech 東京

調査項目：子供、医療介護福祉分野に係る DX の推進について

応対者：一般財団法人 GovTech 東京理事長、経営管理本部総務グループ、

デジタル戦略本部 ご担当者様

内容：一般財団法人 GovTech 東京は、東京都庁および都内自治体を含む東京全体の DX を効果的に推進する新たなプラットフォームとして、2023 年 9 月に業務を開始した。東京都福祉局が所管する子ども・子育て支援「018（ゼロイチハチ）サポート」では、デジタル庁と連携して申請手続の改善を実施し、10 分以内で申請を完了できた人の割合を 7 % から 70 % へと大幅に向上させるなど、申請時間の短縮を実現した。

さらに、国・東京都・都内自治体・民間団体と連携した「こども DX プロジェクト」を開始し、「子育て支援制度レジストリ」を整備。約 130 の制度をオープンデータとして公開するとともに、同レジストリを基に、子育てに関する相談窓口など計 30 制度以上の情報を、先行プロジェクトに参加する 3 自治体の子育て世帯に対し、民間アプリを通じて 3 万件超提供する等した。

当日は、事業概要について説明を受けた後、オフィス内を見学した。



集合写真



概要説明

○令和7年7月29日（火）

（1）ミライデザインパワー株式会社

調査項目：マイクログリッドについて

応対者：ミライデザインパワー株式会社 取締役 業務企画部長 様

内容：筑波研究学園都市建設時に地下に敷設された電気、水道、冷暖房などのパイプラインを収容する共同溝があり、それを活用して新たに地産地消の小規模電力網を構築する計画がある。

当日は、その計画概要の説明を受けるとともに、熱供給設備や共同溝を視察した。



集合写真



設備見学

（2）ムラサキパークかさま

調査項目：先進的なスポーツコミュニケーションの取組について

応対者：笠間市議会 建設産業委員会委員長 様、都市計画課 係長 様

笠間スポーツコミュニケーション プロジェクトマネージャー 様

内容：茨城県笠間市の笠間スポーツコミュニケーションでは、スケートボードやBMX、ブレイキンなどの「アーバンスポーツ」を中心に取組を推進している。公民一体で国内最大級のオールコンクリートのスケートパークを整備し、東京オリンピックの代表合宿も誘致した。

当日は、担当課から、事業概要について説明を受けたほか、スケートパーク内及び利用者の利用の様子等を視察した。



集合写真



パーク見学

(3) さくらがわ地域医療センター

調査項目：公立病院の再編統合について

応対者：桜川市議会風野議長、保健福祉部健康推進課 ご担当者様

内容： 桜川市にあった県西総合病院と筑西市民病院の2つの公的病院と、桜川市にあった民間の山王病院を加えた3病院で再編統合が行われた。桜川市にさくらがわ地域医療センターが、筑西市に茨城県西部メディカルセンター（250床）がそれぞれオープンし、山王病院は廃止された。

当日は、再編統合の経緯や事業成果について説明を受けるとともに、院内を視察した。



概要説明



院内見学

○令和7年7月30日(水)

(1) 栃木県庁

調査項目：老朽化した県立美術館等の再整備について

応対者：文化と知の創造拠点整備室 室長様

内容： 栃木県では、老朽化した県立美術館、図書館及び文書館を「文化と知」の創造拠点として一体的に整備する計画を進めている。

当日は、計画の概要や課題、今後の方針等について説明を受けた。

調査項目：令和元年台風第19号に係る災害廃棄物処理について

応対者：資源循環推進課 課長様

内容： 栃木県は令和元年台風第19号により甚大な被害を受け、住宅の全壊・半壊件数は関東地域で最大規模となった。災害廃棄物は県内全体で約6.1万トンに上った。

当日は、これらの災害廃棄物をどのように処理したのか、また今後の課題について説明を受けた。



集合写真



概要説明